

管理栄養学科（共通科目）

- 【沖縄大学の理念と共通科目】 沖縄大学の基本理念である「地域共創・未来共創の大学へ」を実現するために、他者との対話と協働を通じてより良い社会を作っていく力（共創力）を身に付けるための基礎を養成します。
- 【共通科目の学習・教育目標】 複眼的・総合的思考を可能とする幅広い教養を身に付けるとともに、他者と対話しながら主体的に学ぶことのできる能力（汎用的能力・ジェネリックスキル）を修得します。
- 幅広い教養・・・「沖縄関連」「総合」「人間・社会」「自然・環境」の科目群を通じて身に付けます。
- 多様性を理解・受容できる能力、ものごとを複眼的・総合的に考える能力を身に付け、共創力の基礎となることを目指します。
- 汎用的能力・・・「健康関連」「言語関連」「情報処理関連」「キャリア形成・資格対策」「問題発見演習」の科目群を通じて身に付けます。
- 健康管理能力、日本語・外国語能力、情報活用能力等、どの分野を専攻する上でも必要となる汎用的能力（ジェネリックスキル）を養成することを目指します。

必修 選択必修

区分	学習・教育目標	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通科目	沖縄関連	沖縄の言語 現代沖縄文学	沖縄の地理		
	総合	沖縄の文化Ⅰ 沖縄の文化Ⅱ	近代沖縄文学 現代沖縄学入門		
	人間・社会	ユニバーサル社会入門 福祉コミュニティ入門	沖縄大学論 ジャーナリズム論		
	自然・環境	文化人類学入門 法学入門	青年期のこころの発達 心理学入門		
	健康関連	日本国憲法 政治学入門			
	言語関連	環境と社会			
	情報処理関連	統計学 統計解析入門			
	キャリア形成・資格関連	健康運動演習a 健康運動演習b			
	問題発見	日本語のシステムⅠ 日本語のシステムⅡ			
		Oral English Ⅰ Oral English Ⅱ	日本語ⅠA 日本語ⅠB	日本語ⅡA 日本語ⅡB	※日本語を母語としない学生は必修
	Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	プレゼンテーション演習 情報倫理		
	キャリアデザイン入門	キャリア開発論	キャリア選択論		
	問題発見演習Ⅰ 問題発見演習Ⅱ	2年次の基礎演習へとつなげます。			

管理栄養学科（専門科目）

学習・教育目標

学位取得の条件（ディプロマ・ポリシー）
 管理栄養学科は、大学の教育の理念に基づき、「地域に根ざした国際社会に貢献する卒業生に関する専門課程の達成を目指す」という目標を掲げ、食による健康の保持増進並びに国民食の発展のための栄養管理・栄養指導の専門家（管理栄養士）を養成する。
 本学のディプロマ・ポリシーは以下の3項目を達成した卒業生に対して認定する。

- 幅広い教養と専門的・総合的専門能力
- 幅広い教養と専門的・総合的専門能力
- 幅広い教養と専門的・総合的専門能力

幅広い教養と専門的・総合的専門能力とは、社会倫理の涵養・科学的態度の涵養、「栄養の保障」ができる。

幅広い教養と専門的・総合的専門能力とは、食と健康の関係を理解し、食生活を指導し、食を介して、また、食に自ら参加し、人間の健康に貢献することができ、関連職種や関連機関と連携・協働して、人々の健康および生活の質（QOL）の向上に寄与できる。

幅広い教養と専門的・総合的専門能力とは、食と健康の関係を理解し、食生活を指導し、食を介して、また、食に自ら参加し、人間の健康に貢献することができ、関連職種や関連機関と連携・協働して、人々の健康および生活の質（QOL）の向上に寄与できる。

卒業生および「食」の分野のリーダーとして社会の幅広いフィールドで活躍できる技能を習得し、食の専門性以外の関連職種の役割を認識し、連携・協働してチーム医療を実現できる。

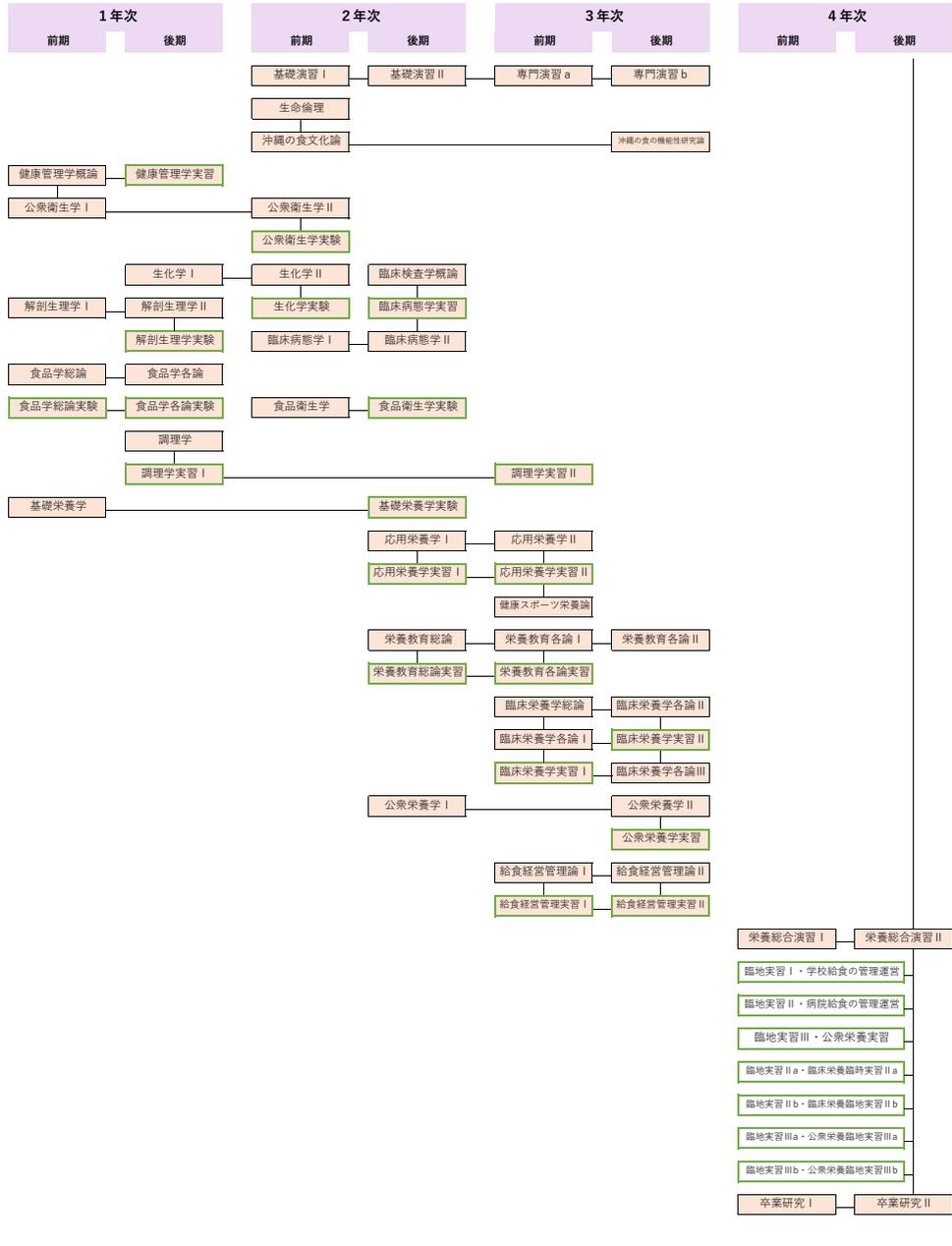
(4) 地域貢献能力
 地域社会の発展、発展の歴史的背景を踏まえた食と健康の関わりについて調査・応用し、沖縄県はもとよりアジア・太平洋諸国の公衆衛生の向上に寄与できる。

(5) 主体的な学習力
 管理栄養士・栄養士として高度な専門的知識を身につけて主体的に学習し、社会貢献できる。

沖縄の置かれた自然的、地理的、歴史的特長を踏まえ、専門的知識と最新技術を修学します。また、自ら問題を提起し、解決、発展させる能力、さらに豊かな人間性・倫理観を兼ね備え、社会的要請に対応できる管理栄養士、栄養教諭を育成します。

- 実験・実習
- 必修
- 選択必修

区分	学習・教育目標
専門導入	食と健康のそれぞれの専門分野についての基礎知識・基礎理論を学び、学生自らの専門性もめ、探究することを目標とします。
	専門性の高い専門職としての基本的な学習、沖縄地域の高と健康の関係を深め、応用し公衆衛生の向上に寄与することを目的とします。
専門基礎分野	沖縄県民の健康・栄養問題および関連要因の把握、課題分析を行い、関係者・関係機関の連携的な連携・協働を促進し、健康・栄養施策の計画立案、実践、モニタリング、評価（測定）、フィードバックを行う能力、高度な公衆栄養管理能力を培い、栄養分野の立場から沖縄県の公衆衛生の向上に貢献できることを目的とします。
	主体の構造と機能を理解することは、栄養学的・医学的な専門科目を学ぶ基礎となり、栄養学からヒトの健康に関わる管理栄養士にとって必要であり、栄養学や医学的な科目の習得の足場となります。さらに、正常な主体の構造や機能が破綻した状態である疾病を理解することを目指します。
専門科目	それぞれの食品原料の特徴や栄養学的特徴、および利用法等について基本的な事項を学び、沖縄特有の食品についても栄養学的特徴や利用法等を学習します。
	ヒトが食べることの意義、健康と栄養、健康の維持・増進、疾病予防へ活用できる基礎知識を習得します。
専門分野	基本的な栄養管理の考え方をベースに、人間のライフサイクルにおける、各ステージ別の生理的変化・身体的・精神的変化の特徴を理解し、さらに個々の対象者の生活環境、身体状況や栄養状態に応じた健康増進のための栄養管理のあり方を習得します。
	栄養教育に関わる理論やモデル、カウンセリング技法を学び、栄養評価、栄養診断、栄養教育プログラムの計画、実施、実施結果の評価、プログラムの再立案など、栄養教育の意義と特性、栄養教育マネジメントサイクルなど、一連の栄養教育を實踐できる知識と能力を培います。
卒業研究	地域社会の健康・栄養問題および関連要因の把握、分析を行い、健康・栄養施策の計画立案、実施、モニタリング・評価、フィードバックまでの一連の公衆栄養活動を学び、理論を実践し公衆栄養管理能力の習得を目標とします。
	給食運営に関する資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全体のマネジメントを行う能力を養うことや、マーケティングの原理を応用し理解するとともに、組織管理等のマネジメントの基本的な考え方や方法を取得します。
	栄養のプロフェッショナルとして総合的実践能力を身につけることを目指します。
	臨地実習は、講義、実験・実習、演習などの授業で学修した成果を、管理栄養士の職務である保健、医療、福祉、教育などの現場における実践的トレーニングの第一歩です。現場で、実際に業務を体験し、臨地での課題の発見や目標達成に向けて関連職種との協働関係を構築することができるように、関連職種に関する基本的な知識を学習するとともに、管理栄養士の職務について総合的に理解することを目的とします。
	卒業研究
	栄養教諭免許関連科目



栄養教諭免許関連科目